

2024年1月24日 全8頁

## Indicators Update

# 2023年12月貿易統計

2023年は自動車の挽回輸出と資源高の一服で貿易収支が大幅に改善

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2023年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.8%と2カ月ぶりに増加し、季節調整値では前月比+5.8%と3カ月ぶりに増加した。主因は自動車輸出の復調だ。輸入金額は前年比▲6.8%と9カ月連続で減少したが、中東情勢の緊迫化による資源価格の上昇もあって減少幅は縮小しつつある。季節調整値では前月比+6.2%となった。貿易収支は+621億円と3カ月ぶりの黒字、季節調整値では▲4,127億円の赤字だった。
- 2023年の輸出金額は前年比+2.8%となった。自動車の挽回輸出が本格化し、輸出金額を同+4.3%pt押し上げた。他方、輸入金額は同▲7.0%となった。資源高の一服の影響が色濃く表れた。貿易収支は▲9兆2,914億円と、2022年(▲20兆3,295億円)から赤字幅が大きく縮小した。なお、2023年10-12月期の実質GDP成長率における外需寄与度は小幅なプラスを見込む。財の純輸出は7-9月期から悪化したとみられるが、サービスの純輸出の増加がこれを補うとみている。
- 2023年12月の輸出数量は前月比+7.8%と3カ月ぶりに増加した。米国向けを中心に自動車輸出が大きく増加した。地域別に見ると、米国向け(同+15.5%)、EU向け(同+10.3%)、アジア向け(同+1.6%)のいずれも増加に転じた。
- 2024年の輸出数量は当面は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。自動車の挽回輸出の加速が一服したことに加え、米欧の景気減速もあって、短期的には日本からの輸出が伸び悩むだろう。

## 【貿易金額】自動車輸出が復調し12月の輸出数量は好調な結果に

2023年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.8%と2カ月ぶりに増加し、コンセンサス（同+9.2%、Bloomberg調査）を上回った（**図表1**）。季節調整値で見ても前月比+5.8%と3カ月ぶりに増加した。自動車輸出が復調したことで輸出の実勢を示す輸出数量が前月比+7.8%（大和総研による季節調整値、以下同）と大幅に増加し、好調な結果となった（**図表2左**）。

輸入金額は前年比▲6.8%と9カ月連続で減少した。品目別では石炭（同▲49.0%）などが減少したが、中東情勢の緊迫化の影響もあって液化天然ガス（同▲19.6%）や原油及び粗油（同▲4.1%）などのマイナス幅は急速に縮小している。輸入金額全体の季節調整値は前月比+6.2%と、輸入価格の上昇を主因に3カ月ぶりに増加した。以上を受け、貿易収支は+621億円と3カ月ぶりの黒字となった一方、季節調整値では▲4,127億円となった（**図表3**）。

また、2023年の輸出金額は前年比+2.8%となった。2023年4月頃から自動車（同+32.7%）の挽回輸出が本格化し、輸出金額を同+4.3%pt押し上げた。他方、米欧における高金利などを背景に資本財輸出が伸び悩み、特に輸出金額の大きい半導体等製造装置（同▲13.0%）が足を引っ張った。他方、輸入金額は同▲7.0%となった。資源高の一股の影響が色濃く表れており、年間で見れば中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格への影響はわずかであった。これらを受け、貿易収支は▲9兆2,914億円と、2022年（▲20兆3,295億円）から赤字幅が大きく縮小した。

なお、2023年10-12月期の実質GDP成長率における外需寄与度は小幅なプラスを見込む。同期の輸出数量は前期比▲1.1%と、EU向け（同▲4.3%）やアジア向け（同▲3.5%）が不調で3四半期ぶりに減少した。輸入数量は同▲0.8%と相対的に小幅な落ち込みだったため、財の純輸出はマイナス寄与となろう。他方でサービス貿易については、10月に知的財産権等使用料が大幅に増加し、10-11月平均の純輸出が7-9月平均から+5,986億円増加した。12月のサービス輸出入の動向次第ではあるが、サービスの純輸出の増加が財のその減少を補うとみている。

図表1：貿易統計の概況

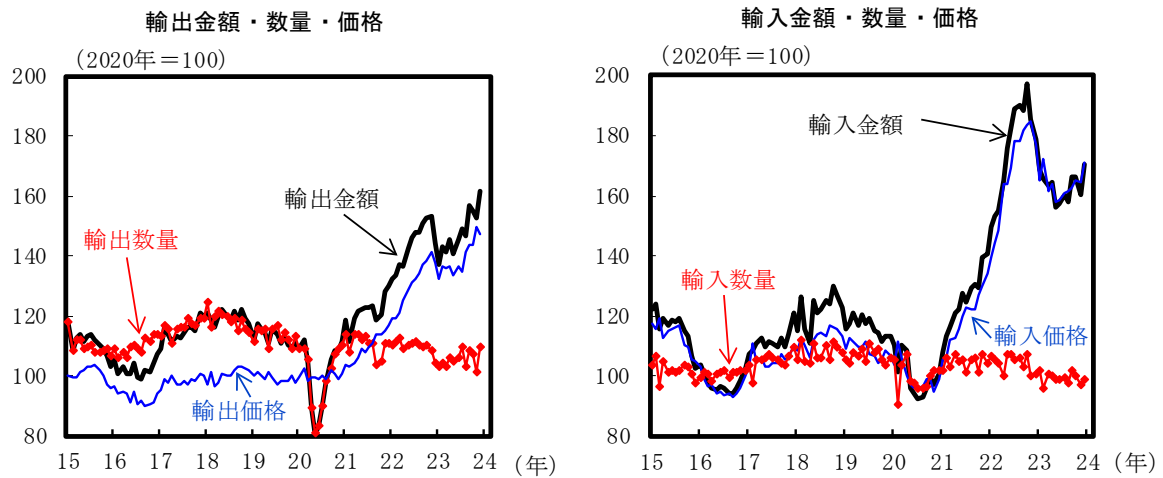
		2023年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
原系列 前年比 %	輸出金額	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.8	
	コンセンサス									9.2	
	DIRエコノミスト予想									12.2	
	輸入金額	▲2.7	▲10.2	▲13.1	▲14.1	▲17.6	▲16.5	▲12.4	▲11.9	▲6.8	
	輸出数量	▲4.4	▲3.6	▲4.0	▲2.8	▲5.3	0.2	▲3.4	▲5.6	3.1	
	価格	7.4	4.4	5.7	2.5	4.8	4.1	5.2	5.8	6.5	
	輸入数量	▲1.6	▲6.6	▲7.6	▲6.2	▲9.0	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.0	
価格	▲1.1	▲3.8	▲5.9	▲8.4	▲9.4	▲13.2	▲9.5	▲8.8	▲3.9		
	貿易収支(億円)	▲4,364	▲13,821	392	▲637	▲9,432	654	▲6,671	▲7,804	621	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	2.7	▲3.1	3.5	2.1	▲1.5	6.9	▲1.2	▲1.4	5.8	
	数量	2.3	▲0.7	1.0	3.5	▲5.9	5.1	▲1.1	▲5.6	7.8	
	価格	0.4	▲2.4	2.4	▲1.3	4.7	1.7	▲0.1	4.4	▲1.9	
	輸入金額	0.7	▲5.0	0.6	2.1	▲1.5	5.4	▲0.1	▲3.7	6.2	
	数量	▲0.8	▲1.4	0.2	0.4	▲1.7	4.5	▲1.6	▲3.4	2.2	
	価格	1.5	▲3.7	0.4	1.7	0.2	0.8	1.5	▲0.3	3.9	
		貿易収支(億円)	▲10,146	▲8,018	▲5,737	▲5,886	▲5,751	▲4,760	▲5,721	▲3,506	▲4,127
	税関長公示レート	132.23	135.31	139.24	142.32	142.23	146.44	148.88	150.34	146.92	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

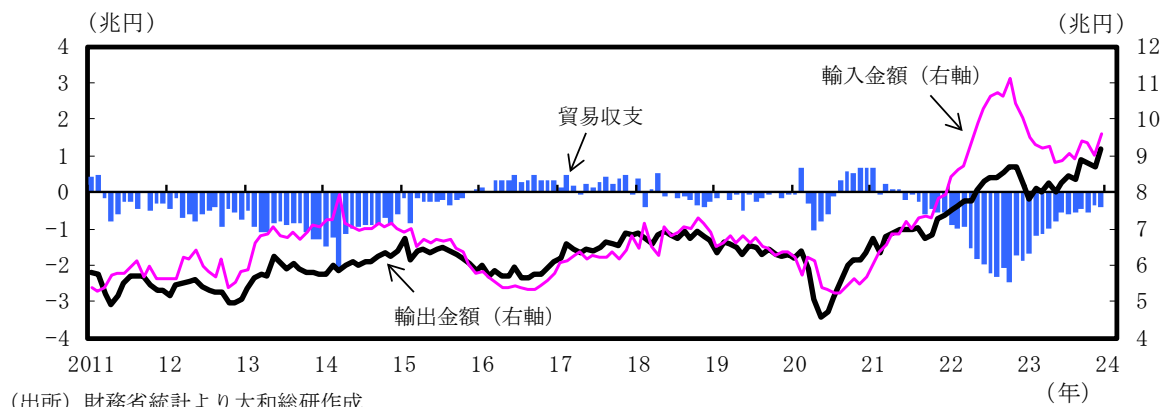
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 【輸出数量】工場稼働停止による供給制約が解消し自動車輸出が大幅増

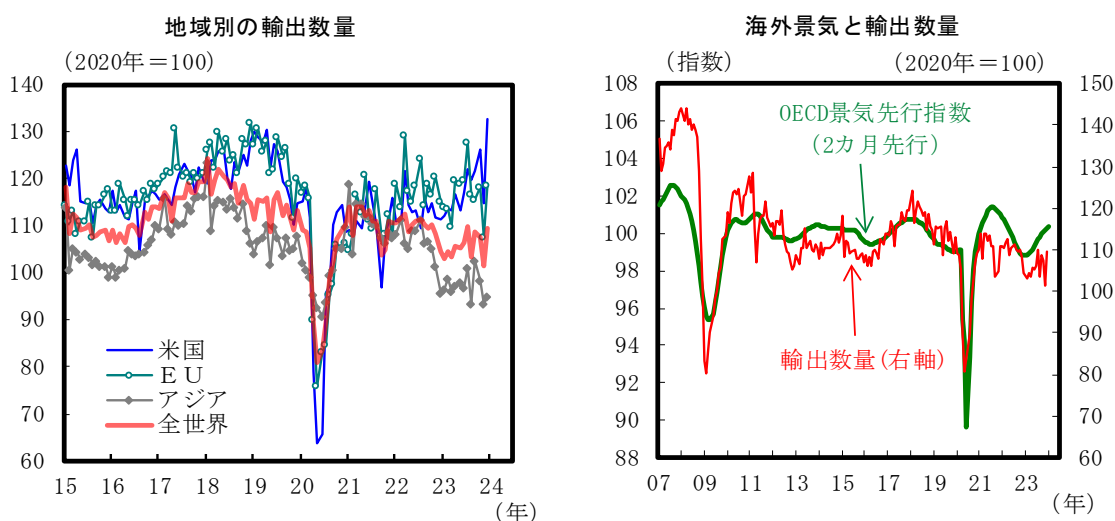
12月の輸出数量は前月比+7.8%と3カ月ぶりに増加した。日本国内でトヨタ自動車の一部の工場が稼働を再開した影響が表れ、米国向けを中心に自動車輸出が好調となった。地域別に見ると、米国向け（同+15.5%）、EU向け（同+10.3%）、アジア向け（同+1.6%）のいずれも増加に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。自動車が4カ月ぶりに増加し、全体を大きく押し上げた。上述した日本国内での生産の復調が主因とみられる。同部分品や、エンジンを含む原動機、鉄鋼といった自動車関連品目の輸出も増加しており、米国での現地生産も好調であることが示唆される。また医薬品や半導体等製造装置など、11月に全体を押し下げていた品目では反動増が見られた。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。プラスチックや鉄鋼、電算機類の部分品、自動車の部分品などの中間財輸出が全体を押し上げた。ただし、ユーロ圏の鉱工業生産指数（建設除く）は2023年8月以降低下が続いており、現地での生産活動が急回復しているとは考えにくい。12月は、一時的な部品在庫の積み増しの動きが日本からの輸出を押し上げた可能性がある。他方、自動車輸出は2カ月連続で減少した。

アジア向けは小幅ながら3カ月ぶりに増加した。半導体等製造装置や自動車輸出が好調だった。いずれも中国向けの寄与が小さいことから、ASEAN向けなどが全体を押し上げたとみられる。他方、集積回路（IC）は3カ月連続で減少した。とりわけ中国向けの減少幅が大きかった。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】米欧向け輸出の減速を主因に 2024 年前半にかけて輸出は伸び悩みか

2024 年の輸出数量は当面は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。自動車の挽回輸出の加速が一段落したことに加え、米欧の景気減速もあって、短期的には日本からの輸出が伸び悩むとみている。

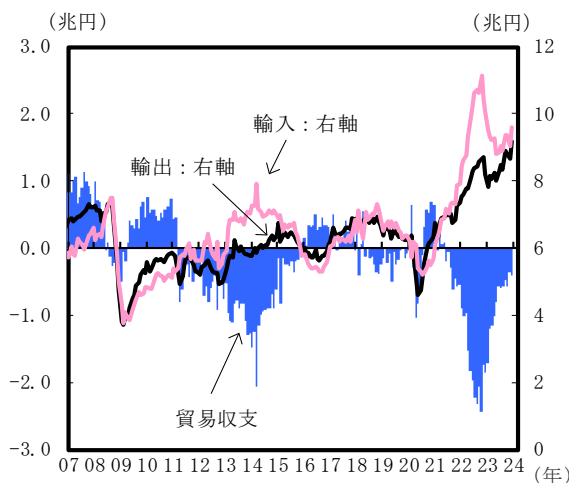
2024 年前半までの輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばい圏で推移するとみている。米国では大幅な景気悪化を伴わずにインフレ率が鈍化する「ソフトランディング」の確度が高まりつつある。他方、利上げ（利下げ）による景気抑制（浮揚）効果が顕在化するまでには半年～1 年程度のタイムラグを伴う傾向がある点には注意が必要だ。仮に米国で早期の利下げが実現しても、2023 年前半の利上げの影響が遅れて表れるほか、利下げによる急速な景気回復が期待しにくいことから、2024 年前半にかけては日本からの輸出が伸び悩む状況が続くだろう。

欧州向けは、域内経済の弱さを背景に緩やかな減少基調が継続するとみている。最大の経済規模を持つドイツでは 10-12 月期の実質 GDP 成長率（参考値）が前期比▲0.3%となるなど、域内では実体経済の弱さが目立つ。物価に目を向けても、EU における 10-12 月平均の消費者物価指数（HICP）は前年比+3.4%と 7-9 月期（同+5.7%）から鈍化したものの、ECB の物価目標を大きく上回っている。当面は抑制的な金融環境の下で内需が拡大しにくく、日本からの輸出は伸び悩むだろう。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国では、総額 1 兆元の国債増発によるインフラ投資の押し上げ効果が 2024 年に本格的に発現するとみられるほか、懸念事項であった不動産不況に対して民営デベロッパー向けの支援策が発表されている。不動産市況の先行きには引き続き注意が必要だが、景気全体が安定的な成長基調に復することで、日本からの一層の輸出を呼び込むとみている。

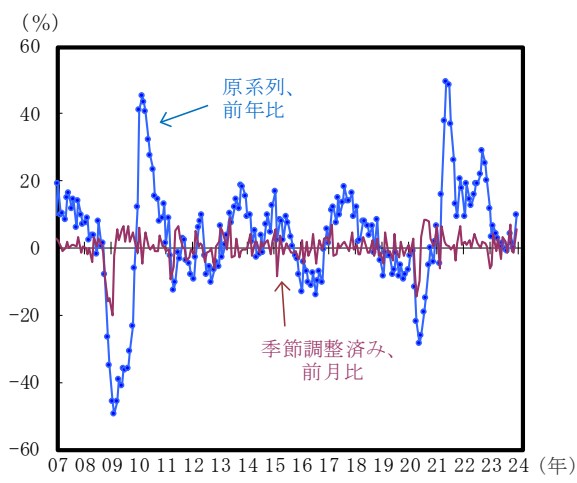
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

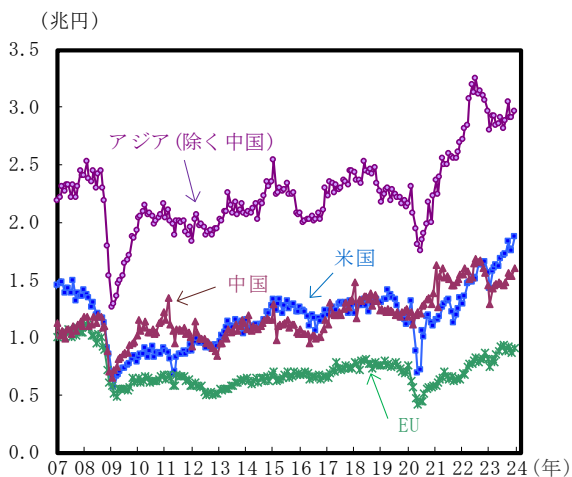


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

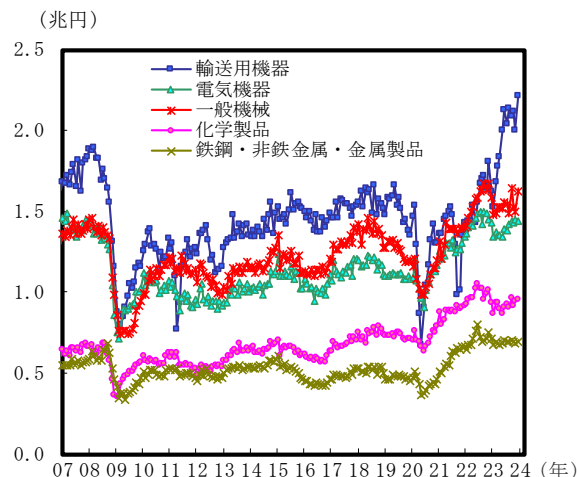


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

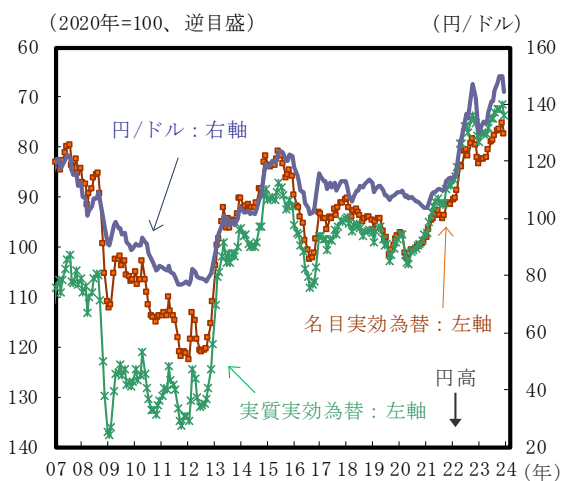


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

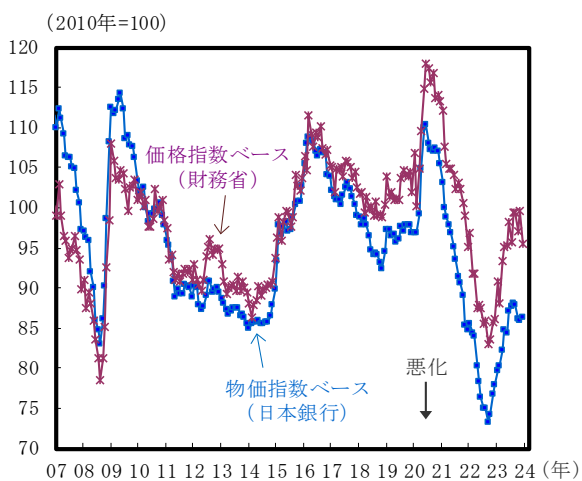


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件





輸出金額 内訳								
	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.8	100.0	9.8
食料品	1.2	▲10.8	▲4.1	▲12.0	▲12.8	▲5.8	1.1	▲0.1
原料品	▲2.5	5.2	7.9	8.6	5.4	27.1	1.6	0.4
鉱物性燃料	▲60.0	▲63.7	▲22.7	▲12.6	▲1.6	▲20.7	1.4	▲0.4
化学製品	▲8.8	▲11.7	1.8	▲7.9	▲6.6	2.0	10.3	0.2
原料別製品	▲2.7	▲1.1	2.2	▲3.0	▲6.1	▲0.3	10.6	▲0.0
鉄鋼	▲4.9	▲3.8	▲1.1	▲3.1	▲11.6	▲6.4	3.8	▲0.3
非鉄金属	▲0.9	9.1	2.9	▲6.0	▲7.7	0.3	2.2	0.0
金属製品	0.2	1.0	0.7	1.6	3.5	6.8	1.3	0.1
一般機械	▲4.5	▲9.6	▲1.4	▲6.4	▲10.2	2.0	18.7	0.4
電気機器	▲7.3	0.2	▲4.0	▲3.8	▲0.3	1.2	16.3	0.2
半導体等電子部品	▲14.8	8.1	▲7.9	▲3.3	6.9	0.7	5.1	0.0
I C	▲13.5	15.7	▲9.8	1.8	13.7	5.6	3.8	0.2
映像機器	▲8.4	▲0.8	▲13.2	3.0	▲10.2			
映像記録・再生機器	1.5	17.0	2.8	9.3	▲5.3	3.3	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲7.8	▲15.7	▲10.0	▲9.6	▲4.7	▲2.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲10.5	▲9.6	▲7.7	▲12.9	▲12.4	▲6.9	2.0	▲0.2
輸送用機器	22.7	25.6	21.2	27.5	11.3	36.6	25.2	7.4
自動車	28.2	40.9	26.9	35.4	16.3	35.9	18.3	5.3
自動車の部分品	10.2	▲1.0	12.0	5.3	9.8	13.6	3.9	0.5
その他	▲0.7	▲1.3	6.6	▲2.3	5.2	11.5	14.8	1.7
科学光学機器	▲9.8	▲6.8	0.7	▲15.3	▲3.3	7.4	2.5	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.5	5.1	13.0	8.5	5.3	20.4	100.0	20.4
食料品	23.4	7.8	49.4	22.4	33.6	22.7	0.8	0.2
原料品	▲23.3	▲47.6	19.8	▲46.3	▲30.0	▲17.3	0.3	▲0.1
鉱物性燃料	▲52.3	▲77.8	▲68.2	▲80.1	▲15.9	19.1	0.0	0.0
化学製品	3.7	▲25.3	12.8	▲16.7	▲6.8	22.4	6.5	1.4
原料別製品	16.0	▲2.2	12.1	8.0	▲1.6	▲0.2	6.3	▲0.0
鉄鋼	32.3	▲15.7	1.8	▲1.5	▲29.3	▲8.5	1.4	▲0.2
非鉄金属	12.4	4.6	25.8	17.7	▲6.9	▲22.2	0.8	▲0.3
金属製品	17.4	4.4	13.3	23.3	16.2	21.1	1.3	0.3
一般機械	▲1.8	▲4.0	6.4	1.3	▲7.2	6.5	23.1	1.7
電気機器	12.8	2.7	3.7	▲0.3	▲1.8	4.3	12.1	0.6
半導体等電子部品	4.4	2.4	▲12.0	▲1.1	▲1.0	0.1	1.1	0.0
I C	7.5	9.3	▲25.9	12.5	10.9	21.5	0.6	0.1
映像機器	▲12.3	▲17.5	▲16.7	▲4.2	▲15.9			
映像記録・再生機器	▲7.8	2.1	▲9.3	▲2.2	▲3.5	3.8	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	77.7	35.5	▲4.8	60.2	32.4	71.6	0.2	0.1
電気回路等の機器	10.6	▲6.4	9.7	▲5.1	▲5.2	0.3	1.1	0.0
輸送用機器	32.9	31.9	27.9	33.5	20.4	40.7	39.9	13.9
自動車	34.1	51.0	33.9	37.9	19.0	39.8	31.8	10.9
自動車の部分品	23.6	▲12.5	2.3	20.1	24.2	35.9	5.7	1.8
その他	4.8	2.5	2.9	▲1.1	8.3	25.7	10.9	2.7
科学光学機器	▲5.0	▲6.8	13.2	▲8.3	▲1.9	21.7	2.7	0.6

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.4	12.7	12.9	8.9	▲0.0	10.3	100.0	10.3
食料品	22.9	16.8	▲12.7	▲10.2	2.1	21.7	0.5	0.1
原料品	▲17.3	▲4.4	▲20.4	▲8.2	▲0.0	13.4	0.9	0.1
鉱物性燃料	▲58.4	▲75.1	▲79.6	▲86.8	▲6.4	▲76.9	0.4	▲1.3
化学製品	▲8.6	▲15.5	▲0.7	▲10.7	▲5.7	8.7	10.5	0.9
原料別製品	5.4	28.1	20.3	▲6.1	▲25.5	▲3.5	7.7	▲0.3
鉄鋼	▲1.8	144.3	38.5	▲2.5	▲46.3	▲7.8	2.4	▲0.2
非鉄金属	5.3	8.9	12.5	3.4	▲27.9	▲23.1	0.8	▲0.3
金属製品	15.2	8.8	4.6	▲10.8	▲1.3	5.7	1.3	0.1
一般機械	13.0	1.0	6.9	1.1	▲18.6	▲15.6	19.0	▲3.9
電気機器	7.9	9.3	9.7	▲7.0	▲3.8	4.4	15.9	0.7
半導体等電子部品	1.6	15.1	18.5	▲3.5	11.2	5.1	2.1	0.1
I C	▲19.6	3.7	2.5	▲7.1	6.6	▲4.2	0.8	▲0.0
映像機器	▲8.4	16.3	2.3	2.9	▲27.2			
映像記録・再生機器	▲1.1	25.6	21.8	20.3	▲20.4	▲9.8	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲32.2	▲29.5	▲0.1	0.2	▲3.3	▲43.3	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	5.1	2.9	5.1	▲7.4	▲14.2	0.8	1.6	0.0
輸送用機器	38.1	35.7	23.9	56.4	25.4	53.8	31.0	11.9
自動車	55.2	63.2	23.9	84.0	35.8	75.3	22.1	10.5
自動車の部分品	23.2	▲7.1	35.9	10.6	21.3	56.4	4.7	1.9
その他	2.0	19.2	20.1	▲3.3	3.1	14.6	14.1	2.0
科学光学機器	▲9.3	23.1	18.3	▲10.3	▲6.5	11.8	4.1	0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲13.3	▲8.8	▲4.3	▲5.3	▲4.1	3.0	100.0	3.0
食料品	▲6.2	▲14.4	▲14.7	▲20.8	▲21.1	▲13.3	1.5	▲0.2
原料品	2.7	10.5	7.8	15.7	8.7	31.5	2.7	0.7
鉱物性燃料	▲64.6	▲61.9	▲25.0	▲3.2	27.6	▲12.6	1.7	▲0.3
化学製品	▲11.8	▲8.7	▲0.7	▲2.5	▲6.8	▲2.2	14.2	▲0.3
原料別製品	▲11.2	▲5.0	▲3.3	▲7.0	▲7.3	0.1	13.6	0.0
鉄鋼	▲18.2	▲12.7	▲7.2	▲10.6	▲14.4	▲7.3	5.0	▲0.4
非鉄金属	▲2.0	8.9	▲1.5	▲5.5	▲2.5	4.0	3.7	0.1
金属製品	▲13.4	▲5.4	▲5.7	▲7.5	▲0.7	4.8	1.5	0.1
一般機械	▲12.5	▲17.8	▲9.6	▲14.2	▲11.0	5.3	19.2	1.0
電気機器	▲15.0	▲3.5	▲9.1	▲5.5	▲0.1	▲0.1	21.5	▲0.0
半導体等電子部品	▲16.3	8.4	▲9.1	▲3.1	7.4	0.5	9.1	0.0
I C	▲14.1	16.1	▲9.7	1.6	14.0	5.2	7.0	0.4
映像機器	▲11.2	▲1.0	▲19.7	5.1	▲9.8			
映像記録・再生機器	6.2	20.1	▲0.4	18.7	▲4.2	12.3	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲18.0	▲20.3	▲13.1	▲19.7	▲15.5	▲1.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲16.2	▲13.2	▲12.7	▲16.5	▲14.8	▲9.7	2.9	▲0.3
輸送用機器	▲16.1	6.2	5.3	11.1	▲3.5	28.0	8.1	1.8
自動車	▲9.4	8.5	8.3	30.8	11.3	45.6	4.4	1.4
自動車の部分品	▲9.1	▲0.1	9.6	▲9.4	1.0	3.2	2.8	0.1
その他	▲7.2	▲7.8	1.8	▲5.6	▲0.1	2.2	17.5	0.4
科学光学機器	▲12.6	▲13.7	▲6.9	▲20.1	▲1.6	1.7	2.7	0.0

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲13.4	▲11.0	▲6.2	▲4.0	▲2.2	9.6	100.0	9.6
食料品	▲23.9	▲43.0	▲58.0	▲55.0	▲60.3	▲46.7	0.6	▲0.6
原料品	3.0	20.2	36.5	25.8	14.0	36.9	3.3	1.0
鉱物性燃料	▲51.3	▲64.3	111.7	3.7	87.5	55.1	1.4	0.6
化学製品	▲8.7	▲3.0	1.5	1.8	▲8.2	▲1.6	16.5	▲0.3
原料別製品	▲16.8	▲11.7	▲11.2	▲8.6	▲3.2	1.4	11.0	0.2
鉄鋼	▲30.1	▲27.8	▲20.2	▲23.3	▲14.5	▲13.1	2.6	▲0.4
非鉄金属	▲7.8	▲4.2	▲8.2	▲0.0	13.5	11.0	3.7	0.4
金属製品	▲20.4	▲6.7	▲12.1	▲6.7	▲6.6	2.3	1.4	0.0
一般機械	▲2.8	▲8.6	1.4	4.4	6.1	33.8	26.5	7.3
電気機器	▲20.6	▲5.1	▲15.1	▲13.5	▲9.8	▲7.0	19.7	▲1.6
半導体等電子部品	▲16.8	25.5	▲22.9	▲23.3	▲15.9	▲22.0	5.8	▲1.8
I C	▲19.4	39.4	▲27.2	▲27.8	▲21.9	▲29.2	3.9	▲1.8
映像機器	▲21.6	▲15.9	▲33.0	0.5	▲18.3			
映像記録・再生機器	3.4	8.4	▲12.4	55.8	▲16.1	17.6	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲44.1	▲28.6	▲30.8	▲34.3	▲34.0	▲20.8	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲25.2	▲16.5	▲17.8	▲19.8	▲12.5	▲4.9	3.2	▲0.2
輸送用機器	▲24.6	▲5.8	4.6	14.4	14.2	54.8	8.5	3.3
自動車	▲23.5	▲2.3	7.6	31.8	18.2	78.7	5.7	2.8
自動車の部分品	▲30.5	▲16.8	▲3.6	▲11.5	6.6	15.4	2.5	0.4
その他	▲8.9	▲29.4	▲22.0	▲16.0	▲7.9	▲1.4	12.4	▲0.2
科学光学機器	▲7.8	▲17.6	▲1.5	▲14.8	▲0.8	8.8	3.4	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成